

政策・財政会議等 議事概要

日 時：平成 30 年 10 月 26 日（金） 15:00～15:40

場 所：行政庁舎 4 階 庁議室

1 開 会

2 議 事

(1) 平成 31 年度政策財政運営の基本方針（案）について

- 知 事：議題（1）について、震災復興・企画部から説明してください。
- 震災復興政策課長：（資料 1 に基づき説明。）
- 知 事：只今の説明に対して、意見及び質問はありますか。
- 震災復興・企画部長：復興の総仕上げに向けた更なるスピードアップが非常に重要です。各事業課は全力を尽くして欲しいと思います。
- 知 事：それでは、議題（1）については、案のとおり決定します。

(2) 平成 31 年度予算フレーム（案）及び予算要求上限額（案）について

- 知 事：議題（2）について、総務部から説明してください。
- 財政課長：（資料 2 に基づき説明。）
- 知 事：只今の説明に対して、意見及び質問はありますか。
（質疑なし）
- 知 事：それでは、議題（2）については、案のとおり決定します。

(3) 平成 31 年度宮城の将来ビジョン推進事業（候補）、宮城県震災復興推進事業（候補）及び宮城県地方創生推進事業（候補）選定（案）並びに政策課題関連事業の選定状況について

- 知 事：議題（3）について、震災復興・企画部から説明してください。
- 震災復興政策課長：（資料 3 に基づき説明。）
- 知 事：只今の説明に対して、意見及び質問はありますか。
（質疑なし）
- 知 事：それでは、議題（3）については、案のとおり決定します。
- 知 事：本日の決定を踏まえ、私から 2 点お願いしたいことがあります。
1 つ目として、今後、新年度予算の編成に向けた具体の作業に入ることになります。復興需要後の経済活性化や人手不足対策、教育・福祉の充実など、取り組むべき様々な課題があります。これまで庁内で議論してきた内容を十分に踏まえ、より良い事業を練り上げてください。
2 つ目に、復旧・復興の完遂に向け、必要な取組は積極的に予算化を図り、速やかな執行につなげることが肝要です。しかし、平成 33 年度以降の事業継続に際しては、国との厳しい交渉が予想されるため、県の独自財源は効率的に活用していく必要があります。そのため、特に県の独自財源で行っている事業については、その進捗状況を分析し、復旧・復興への影響を最小限にしなが、柔軟に在り方を見直してください。
あわせて、国においては、今年度の補正予算の審議についても報道されているところであり、速やかな対応ができるよう、情報収集に努めてください。
- 知 事：以上で議事を終了します。

3 閉 会